

2021年(令3)2月14日(日)快晴暖かい。新型コロナの影響により、現在は緊急事態宣言中で原則外出自粛となっているが、健康維持のために乗客の少ない朝一番の電車で秩父に向かう。

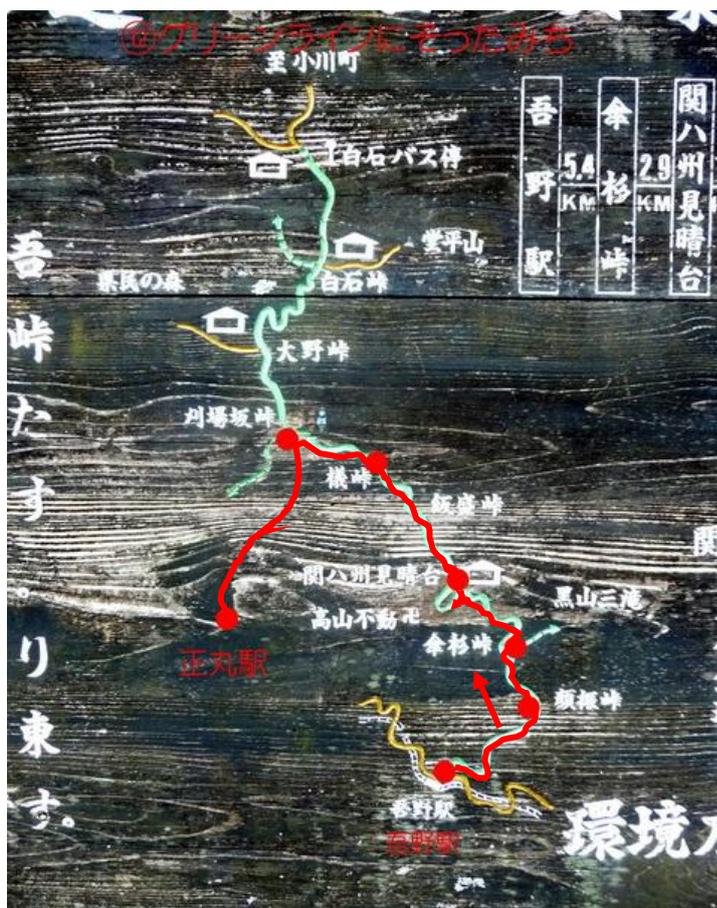
今回のコースは、飯能側のまとめの道で顔振峠、関八州見晴台、刈場坂峠から白石峠への縦走路である。22kmの長距離であるが、日暮と終バスを心配して刈場坂峠から、沢を下って正丸駅に下った。

尚、刈場坂峠から白石峠までは④峠の歴史をしのぶ道で既に踏破しているから省略出来る。

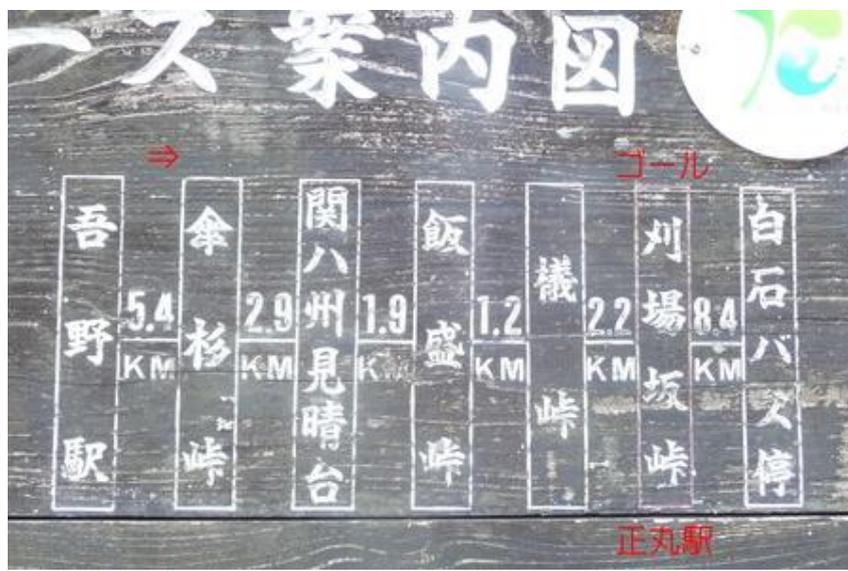
以上、今回を以って埼玉県全コースを踏破したことになる。



「⑫グリーンラインに沿った道」案内板 奥武蔵の稜線を縦断する26kmもの広域林道に沿った道



「⑫グリーンラインに沿ったみち」概念図



行程図（川場坂峠から白石バス停までは、「④峠の歴史をしのぶみち」で歩くので歩行を省略する



今日の鉄道最寄り下車駅は、秩父鉄道 吾野(あがの)駅 8:15 着



改札口を出ると目の前に、左は②奥武蔵の古刹を訪ねるみち右は今日歩く⑫グリーンラインに沿ったみちである。



この道は「①義経伝説と滝のある道」と顔振峠まで同じ道を行く、駅前の急な階段を下って、秩父街道吾野宿に入る



高麗川対岸から見た吾野宿全景。高麗川と秩父街道に沿った狭隘な場所の宿場だ



秩父街道「吾野宿」、すっかり新しい建物に変わっているし、過疎化も進んでいる



高麗川を高麗橋で渡って、借宿神社の前から道標に従って右折して山に向かう



風影集落に向かう県道と分かれて、林道に入っていく



林道が尽きればここからは登山道となり、快適な登行が顔振峠へ案内してくれる



1時間半程頑張れば風影の集落が見えてきて、峠は近い



今日は2月にしては珍しく無風快晴、気温も16度と4月の陽気だ。風影の集落と後方尖った山は武甲山



「顔振峠(538m)」奥武蔵から黒山方面(比企)に抜ける昔から重要な峠となっている



要衝の地であるから茶店も多い



「平九郎茶屋」①義経伝説の項で詳述したが、今年の大河ドラマ「平九郎」の養子、平九郎が戊辰戦争で上野彰義隊として戦い、更に飯能の戦いで敗れこの峠まで敗走する。ここの茶店で衣服を整え、刀を預けて黒山に下山、官軍に捕らえられ 20 歳で自刃する。

茶店のお婆さんと暫く平九郎の話をする。背後に架かる紋付の和装が平九郎の写真



「グリーンライン」ここから全長 22 kmに及ぶ長距離広域林道で比企、入間、秩父の三郡を結ぶ 2 千ヘクタールに及ぶ森林資源開発道路、登山道はこの舗装道路と付かず離れず北に向かう



山道に入り大峰山経由傘杉峠に向かう



大峰山(622m)に登って下ると、ひょっこり傘杉峠の林道に出る



また山道に入って今度は花立松ノ峠に向かう

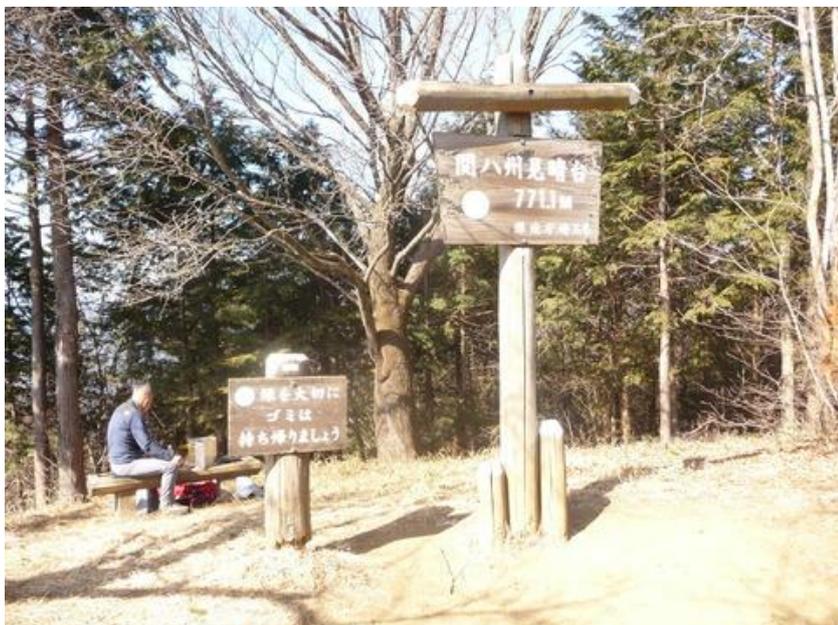


花立松ノ峠でまた林道に出て、関八州見晴らし台に向かう。このコース縦走中合計8回林道と山道が行合う



「関八州見晴台(771m)」ここには麓にある高山不動尊の奥の院が鎮座する。

関八州とは武蔵、相模、安房、上総、下総、常陸、上野、下野を指すが、江戸時代に全部見えたかどうか不明



多くのハイカーがここで昼食、11時40分に到着したから私もここで昼食



尾根通しに小ピークを越えると「飯盛山」に着く。頂上は雑木に覆われ見通しが効かないので、そのまま通過する。



グリーンラインの遊歩道は舗装道路と山道が交差する、所々開けた明るい尾根を歩いたり



ふかふかの落ち葉の絨毯の上を歩いたり



北斜面の日影に入ると、雪も残っていた



「つつじ山(879m)」三等三角点が建つ。いままで歩いて来た道がよくわかる



振り返れば今日歩いて来た道が見える。正面の山は関八州見晴らし台、右奥は顔振峠



「刈場坂峠」グリーンラインに沿ったみちは、ここから白石峠に出て白石バス停まで谷を下るのであるが、2月はまだ日が短い。谷を下る頃には日暮になるから、今日は高麗川源流の谷を下って、正丸駅に向かう



舗装された林道を虚空蔵峠に下らず、直下の高麗川最源流の谷を下る、落ち葉でルートが分からない



倒木をかき分けて下ると、やっと明瞭な道に出た



「高麗川最源流の碑」谷を詰めた、最初の一滴の所に建つ



「高麗川源流保全の碑」谷を下った林道の傍らに立つ

高麗川は一級河川で 40km流れ越辺川、入間川に合流し、荒川に注ぐ



林道を 1 時間程下ると国道 299 号線の秩父街道に出るから、国道沿いに南に向かって 15 分歩くと正丸駅に到着

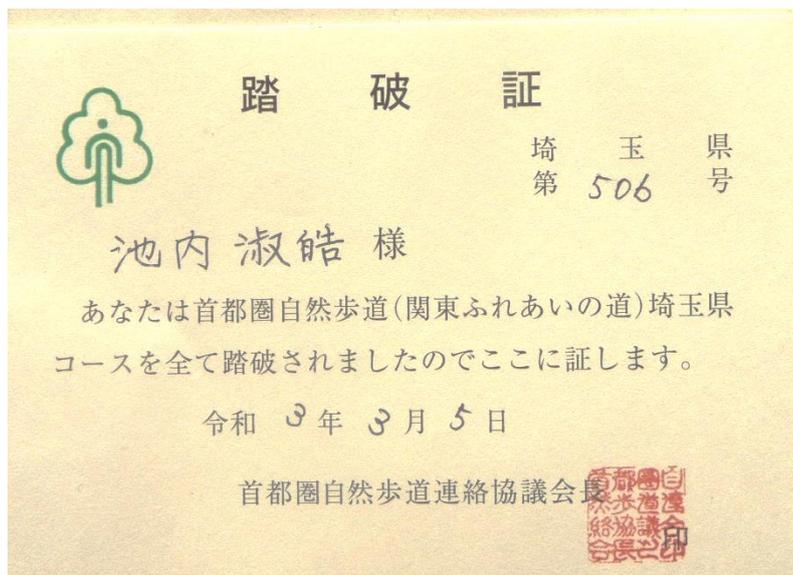


待つこと10分、15:55の飯能駅行きに乗車出来た。

本稿を以って関東ふれあいの道(埼玉)の全13コースを完歩しました。

[参考タイム]吾野駅(8:20)→顔振峠(9:40-9:45)→傘杉峠(10:25-10:30)→花立松ノ峠(11:10)→
関八州見晴(11:40-12:10)→ブナ峠(13:15-13:20)→つつじ山(13:55-14:00)→刈場坂峠(14:20-
14:30)→正丸駅(15:45-15:55)

この項完



完全踏破したので申請したところ、首都圏自然歩道連絡協議会から認定証とバッジが送られてきた

「関東ふれあいの道を歩く(茨城)①青少年旅行村のあるみち」に続く